

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月20日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|---|
| 事業所番号 | 4670105073 |
| 法人名 | 有限会社 いろり |
| 事業所名 | グループホーム いろりの家 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市坂之上六丁目20番30号 (電話) 099-262-4647 |
| 自己評価作成日 | 平成27年2月17日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|------------------------------|
| 評価機関名 | NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号 |
| 訪問調査日 | 平成27年3月5日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームは、鹿児島市南部にある郊外の静かな住宅地に位置しております。近隣には郵便局・スーパー・大学等が在り、衣料品店やスーパー等で入居者様と一緒に散歩を行いながら買い物に出掛けております。入居者様の生活を安全に送っていただくために、身体拘束・高齢者虐待・感染予防・安全管理・レク委員会を立ち上げており、入居者様の支援に反映できるように、知識・経験向上に勤しんでおります。また、ご家族や地域の方々との交流も出来るだけ深めていただけるように、季節の行事や運営推進委員会等にて参加の呼びかけを行っております。遠方にいらっしゃるご家族様へは毎月お便りを発送しております。入居者様への医療管理については、かかりつけ医との連携を密に図り、看取り介護まで取り組んでおります。これからも入居者様・ご家族様が思いが叶えられる住み慣れたホームであるように努めていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は利用者がゆっくりと毎日が過ごせるように、一人ひとりを尊重したかわりを行っている。
- ・併設施設として、デイサービスセンター・宅老所・有料老人ホームがあり、協力関係にある。
- ・利用者は、日常的に事業所周辺の散歩やスーパーマーケットへの買い物など、地域の人とふれあいながら暮らしている。
- ・事業所の行事や避難訓練には地域住民の参加があり、地域ぐるみの協力体制が築かれている。
- ・町内会長や民生委員・老人クラブ会長からの高齢者に対する問題や認知症に関する相談を受ける等、地域に根ざした福祉サービスの一端を担っている。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 理念をホール内に掲げる事で何時でも管理者・職員が意識出来るようにし、意識共有し、実践につなげている。 | 事業所独自の理念を作り、玄関やホールに掲示している。ミーティングで理念に基づいたケアの在り方の話し合いを持ち、全員で理念の共有とケアの統一を図っている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内会に加入しており、定期的に地域の博識者と話し合いを設けたり、行事に近隣の方々へと連絡・参加の呼びかけを行っており、参加して頂けている。天気の良い日に近隣の散歩を行っている。 | 町内会に加入し、事業所行事の案内など地域住民に参加を呼びかけたり、地域行事には利用者や職員が積極的に参加している。日常的な散歩や買い物には近隣住民と挨拶を交わしたり、保育園児や小学生のボランティア、実習生の受け入れ等、継続的な交流ができています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 地域の博識者との話し合いや、地域の方々が見学に訪れた際に、認知症の方への関わり方や支援の方法を出来る範囲で分かり易い形でお伝えしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 4 | 3 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>地域の博識者だけでなく、長寿安心相談センターからの職員にも参加を頂き、日頃の状況を説明・報告を行い、アドバイスを頂いている。また、逆に相談や困った事について、お答えしている。</p> | <p>地域包括支援センター職員・利用者・家族・老人クラブ会長・民生委員・町内会長等が参加し、事業所や利用者の状況・外部評価への取り組み等を報告し、質問や意見交換を行いサービス向上に活かしている。</p> | |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p> | <p>長寿安心相談センターの職員とは運営推進委員会にてお互いに情報のやり取りを行い、連携をとっている。</p> | <p>市担当者を訪ね、困難事例などについて報告や相談をしたり、電話で利用者の状況報告及び情報交換を行って連携を深めている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>玄関の施錠は日中行っていない。身体拘束については基本的に行って居らず、危険な行為に及ぶ時は職員間で様々な案を出し合い身体拘束とならないケア案を出し合っている。</p> | <p>身体拘束廃止委員会を作り、3ヶ月に1回言葉遣いを含め利用者の心身に拘束をしないケアについて意見交換をしている。全職員は身体拘束をしないケアを正しく理解するように努め、見守りを密にしながら利用者の自由な暮らしを支援している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>身体拘束・高齢者虐待委員会にて研修を定期的に行い、何が虐待なのか、どうしていけないのかをしっかりと理解していき、防止に努めている。特に言葉使いには注意を払っている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>権利擁護についても、委員会にて定期的に研修を行って管理者・職員が理解に努めている。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>見学の段階から、契約事項についての話しを行っている。出来るだけ透明性のある説明を行う事で契約の締結・解約、改訂等の時に理解しやすい様に努めている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>面会や家族会、電話やお便りにて接する機会がある時に職員・ケアマネ・管理者から率先してお話しを行う様な体制を作り、小まめに意見や要望等を拾い上げる環境を努めている。</p> | <p>家族会や面会時等に家族に声かけを行い、気軽に意見や要望を出してもらおうようにしている。本人とは日常の会話の中から思いを聞いている。出された意見や要望は職員で話し合い、今後の運営に活かせるよう努めている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>毎月のミーティング時に要望を尋ねている。それ以外にも提案は随時、管理者を通じ伺って、反映させる様に検討している。</p> | <p>管理者は、月1回のミーティングや日々のコミュニケーションの中で職員の意見や提案を聞く機会を設け、必要時は個人面接も行っている。職員の提案で空調設備を整える等、利用者のサービスに反映させている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>勤務状況を把握し、その能力や実績年数等に合わせて算定している。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>職員会議や日頃の状況を管理者より伺い、職員の状況を確認している。外部への研修にも参加している。また、研修だけでなく日頃のケアの大切な部分について常に伝え、確認している。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>グループホーム協会や外部研修の参加にて同業者との交流を行うように伝えている。参加することで今後のモチベーションや質の向上に取り組んでいく様に取り組んでいる。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前にご本人様やご家族様から聞き取りを行い、少しでもご本人様が安心して生活を送る事が出来るよう、また、ご要望がある時は、答えられるように努めていく。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様とカンファレンスを行ったり、連絡や面会の時に些細な事でも困った事や解らない事がないかをお聴きしたりして、意向を確認しております。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居前にご本人様やご家族様からの要望や訴え、自宅・施設での状況など、細かく聞き取りを行う事で、ご本人様に現状あった支援を行うようにしている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日常、会話を小まめに行い、本人の気持ちに添えるようにしている。生活の中で関わり合う時間を多く共有する事で信頼関係を築いている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様にも面会の機会を出来るだけ持って頂く事で、本人様とご家族様の絆を大切にしながら、安心した生活を作り上げるよう支援している。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 継続できている方とできていない方という。出来ている方は理髪店など昔なじみの店にてご利用できるように支援している。友人が月に1,2回面会に来られる。 | 地域の行事に参加したり、自宅訪問や馴染みの理髪店での散髪などを行っている。友人等の来訪時は居室でゆっくりできるように配慮し、関係が途切れないよう支援に努めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ホール等、皆が食事をする場所では、本人様の周りの方を心配されたり、お互いに声を掛けている所がみられたりしている。座席配置等にて配慮している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ご相談があれば、いつでも対応しております。必要に応じた支援を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日常の会話や介助中に何う事で一人ひとりの気持ちや思いを傾聴し、情報を申し送る事で、職員間で把握行っているが、困難な場合は、職員間にてご家族様の情報も踏まえ、検討を行っている。 | 日常の関わりの中で利用者の状況・会話・表情・しぐさから把握に努め、朝夕の申し送りなどで全職員で共有している。意思疎通が困難な場合、家族や支援記録から情報を得て、本人本位に検討している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人様、ご家族様よりアセスメントをとり、状況の把握を行っている。それを基に現サービスに活かしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日中、夜間の勤務時の状況申し送り等にて1人1人の暮らしの状況を把握している。定期的に様子観察し、健康状態の確認を行い、職員がお互いに情報を共有している。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月に1回のミーティングにて入居者様一人ひとりの対応等について管理者・ケアマネ・職員にて話し合っている。月ごとにモニタリングし、それを基に介護計画を練り直していく。何時如何なる時でも、課題と検討を繰り返していくようにしている。 | 入居者ごとにミーティングで、意見や情報交換を行い介護計画を作成している。月1回モニタリング、3ヶ月に1回カンファレンスを行っている。本人や家族の要望や健康状態の変化が見られた場合は現状に合わせて介護計画の変更を行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>昼間、夜間共にしっかりとした記録を残してお互いに情報が共有できるようにしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>日頃のサービスを基にケアを行っているが、変化や状況に応じて出現するニーズに対し、職員間で話し合い、方向性を決めていく事で柔軟な支援を行えるように取り組んでいる。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>地域の方々との関わりを持てるように、運営推進委員会にて地域の博識者との話し合いを定期的に行ったり、行事に博識者含め、近隣の方への参加をお声掛けしております。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>入居者様、かかりつけ医が適切な医療管理を受けている。また、事業所と医療機関との関係を築き、情報共有して定期的なカンファレンスも行っている。</p> | <p>利用者や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診は職員が同行し、結果は家族に電話で報告している。かかりつけ医による2週間に1回の訪問診療や24時間オンコール体制及び看護師による健康チェックなど、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>日頃、気付いた事があれば、直ぐに相談できるように記録している。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>本人様・ご家族様へ出来るだけ速やかに入退院の手続きが取れるように支援行っております。また、主治医・ケアマネと事前に救急時の対応や病院先などの相談や決め事を話し合っております。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>状態に応じてご家族様と話し合いを持っております。終末期については、十分に本人様・ご家族様に対し、出来るだけの支援（不安軽減、情報提供等）を行っております。</p> | <p>重度化や終末期に向けた方針は、入居時に利用者・家族に説明している。本人や家族の意向を踏まえ、状態の変化がある毎に本人や家族と話し合いをしている。看取り指針に沿って、職員も状態を共有し、支援に取り組んでいる。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>マニュアルに則り、すぐに対応が出来るように連絡体制を決めている。不定期であるが、緊急時の対応についての話しを行っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>消火器の設置場所や地域の方々を招いて、年2回の災害（消防）訓練も実施している。</p> | <p>消防署の協力を得て、年に2回避難訓練を実施している。訓練の前日に、近隣に声をかけ協力を得るようにしている。避難訓練は、運営推進会議を兼ねて開催し消防隊による消火器の使い方等を実施している。月に1回夜勤対象者に自主訓練のシュミレーションを行っている。災害時の水や非常食品・ガスコンロなど備蓄している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p> | <p>現状、少し砕けた口調が多くなっている。1人1人の人格を認め、尊重している。誇りやプライバシーを損ねない言葉掛けや対応は励行していく必要がある。状況により方言を使っている。</p> | <p>人格の尊重とプライバシーの保護には特に気を配っている。声かけは馴染みやすい方言を遣って、本人の気持ちを大切にしながらさりげないケアを行っている。情報収集及び書類の保管はプライバシーの保護に配慮して対応している。</p> | |
| 37 | | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p> | <p>入居者様の希望について、本人様の目線に立ち、簡単な質問で簡易な返答で答えられるように工夫している。</p> | | |
| 38 | | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>前もって決めている活動（入浴、受診）もあるが、出来るだけ希望に添うように取り組んでいる。本人様のペースを大切にしたいが、職員が他の入居者様の介助にて「待って下さい。」という言葉が多い時がある。</p> | | |
| 39 | | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p> | <p>起床時や寝起き後の時は必ず髪の毛や服装の整容し、身だしなみを正しくあるように支援している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | お一人ずつ、本人様に合わせた食事形態や量で提供する。準備から片付けまでを能力に合わせて支援している。 | 食事は専任の調理師が担当しており、利用者に合った食事形態・食事量で作成している。誕生日はケーキで祝ったり、季節の行事食や外食・弁当などを準備して楽しんでいる。利用者も食事の準備から後片付けまで職員と一緒にやっている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量、水分量の一覧表を記録として残し、確認している。足りない部分については、入居者様お一人お一人の好みや状況についてゼリーや栄養補助食品等の支援を行っている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後や起床時に、うがいや歯磨きの口腔ケアを状態に応じた支援を行っている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | おむつの使用が減らせるようにトイレの排泄の声掛けや介助を行っており、本人様の能力や記録から排泄パターン等から支援に向けての方針や方法を検討・実施している。 | 排泄チェック表を使用し、動作や表情等、小さな情報を把握して早めのトイレ誘導で排泄できるように支援している。職員全員で排泄パターンを共有し、紙パンツやパットなど、本人に合わせて実施している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 予防として、運動やおやつ、食事に工夫して出している（食物繊維物を増やす）。また、便秘の強い方については主治医との相談も行い、対応している。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 入浴日は基本的に決めているが、無理強い行わず、状況に応じて臨機応変に対応している。入浴方法は入居者様お一人お一人の状況に応じて支援を行っている。 | 入浴日は基本的に週3日であるが本人の生活習慣に合わせた入浴ができるよう配慮している。快適な湯温設定や脱衣場での温度管理にも気を配り、季節に応じて柑橘類を入れたりする等、入浴を楽しめるよう支援している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 傾眠がみられたり、生活習慣などの状況から、様子を伺い、休息や入眠を支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 入居者様の口にしっかりと入れて服薬をしっかり飲み込むまで確認を行っている。薬の情報をファイルで綴じており、いつでもみることが出来るようにしている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | お一人おひとりの細やかな支援は、日常の支援（業務等）で行える時間がとても少ないが、その中で楽しみ事や気分転換等の支援を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 本人様の希望により買い物に行ったり、気分転換に散歩に出掛けたりと職員が介助にて支援を行っている。また、毎月のに少なくとも1回は行事を予定し、参加いただいている。 | 日常的には利用者の希望に沿って、散歩や自宅の様子を見に出かけたり、近隣のスーパーマーケットや馴染みの衣料品店で買い物をしたりしている。年間行事計画に合わせて、花見や外出など、家族や地域住民の協力を得て支援している。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご本人様の能力に合わせて、お金の管理を行って頂いております。嗜好品等のご所望がある時は、購入を支援しております。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している | 家族などから電話がある時や本人様からのご要望がある時は行っている。手紙のやり取りはほとんど無いが、職員のほうからご家族様へのお便りをお送りしている。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室に温湿計を設置し、エアコン・加湿器（無いときは、湿度がとれるよう濡れたタオルを掛けておく）や採光の調整を介助にて行っております。共用の空間には季節の花を飾ったり、エアコン・空気清浄機・加湿器・消臭剤等で入居者様にできるだけ不快を与えないように取り組んでおります。 | 共用空間は採光が窓越しに入り明るい。騒音もなく温度や湿度に配慮され加湿器や空調清浄機等で快適な空調管理ができています。玄関や居間には行事の写真や季節の花や手作りカレンダー・利用者が折った花やお雛さまなど数多くの折り紙が飾られて、居心地のよい共用空間である。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>10時や15時のお茶の時間はホールにて皆で集まり、お菓子と一緒に召し上がっております。その際に利用者様同士での同じ場所で過ごして頂いております。お独りになりたい時は居室にて過ごして頂く等の対応で過ごして頂いている。</p> | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>季節に応じた服装や布団等、使い慣れた物をできるだけ用意して頂き、不足がないようにご家族様との連携を行っております。</p> | <p>居室はテレビや整理ダンス・ラジオ・家族写真・布団類を持ち込み、お気に入りの洋服や帽子・ぬいぐるみ等も好みに合わせて飾り、安心して生活できるようにしている。温・湿度計を備えて心地よく過ごせるように配慮されている。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>お一人おひとりの生活を支援していく中で、能力を確認し、できることやわかることを活かして過ごしていただけるようにしていきたいが、実情はその部分まで支援してしまっている事がある。</p> | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | ○ | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | ○ | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |